

バラ(スプレー・ミニ)
Rosa hybrida
 (バラ科)

スタンダードの1茎1花に対して、1茎多花タイプ。花の大きさは中輪から小輪まで、また、1茎当たりの小花数も5輪から10輪程度までさまざまである。スタンダードと同様に、バケツか水入り縦箱で出荷され、横箱乾式はほとんどない。かなり咲かせてから出荷するので、ベントネックは少ない。日持ち終了の主な症状は、花卉の萎凋で、健全な小花が2輪以下になれば終了とする。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
小花の萎凋	A: 花卉に張りがある B: 花卉がやや軟らかい C: 花卉が軟らかく、萎凋が始まる D: 花卉が萎凋し、収縮する、花卉が落下することもある	
開花程度	B: Bの小花が発生 C: C、Dの小花が1~2輪発生 D: A、Bの小花が2輪以下になる	1茎当たりの小花数は品種、等級で異なるので、健全小花が2輪以下になった時をDとする。
花首の萎れ (ベントネック)	視覚的に、 C: 傾く D: 垂れる	切り前が固く、若い蕾で出荷されると発生することがある。
葉の黄変	C: 下葉が黄変 D: 1/2の葉が黄変	
灰色かび病	花卉に、 C: 小斑点(5mm以下)が発生する D: 大斑点になる	
その他		

2) 留意点

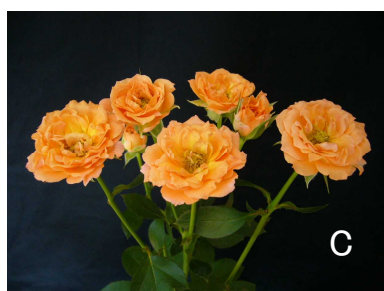
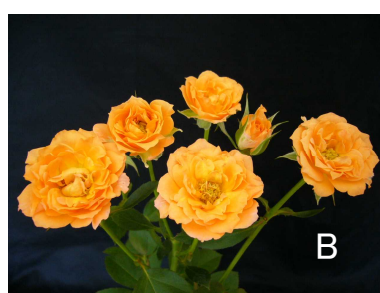
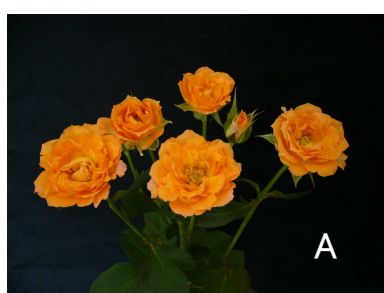
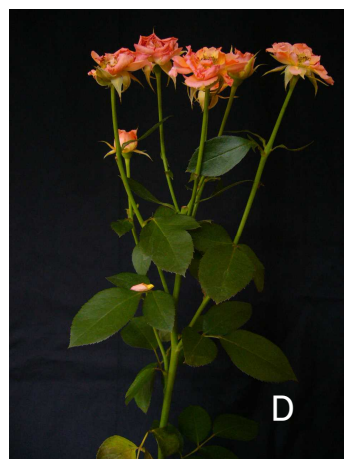
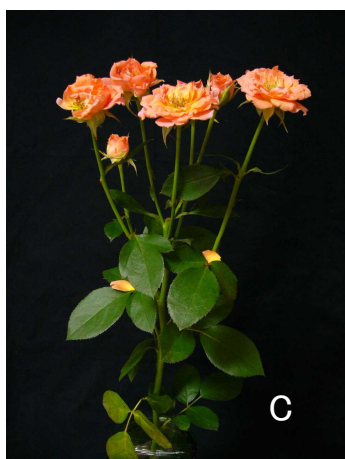
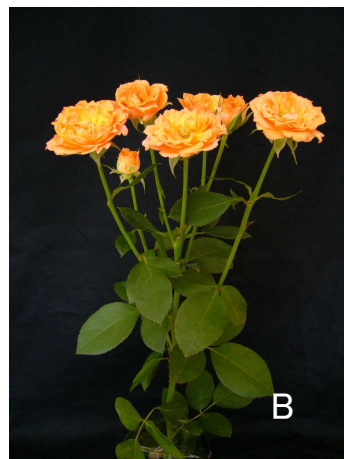
下葉は十分に取り除いて、生け水につからないようにする。

一般には孫芽(2次花蕾、3次花蕾)は取り除いて出荷されているが、付いている場合には評価開始時に除去する。

調査中にDになった小花は取り除いてもよい。

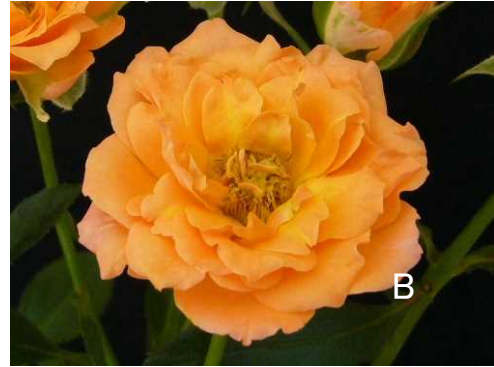
多湿下で灰色かび病が発生しやすい。

3) 開花



4) チェック事項

小花の萎凋



葉の黄変

